

グループ討議 機関リポジトリ構築のプランニング

学術ポータル担当者研修

平成20年7月23～25日 名古屋

平成20年8月27～29日 東京

ゴール

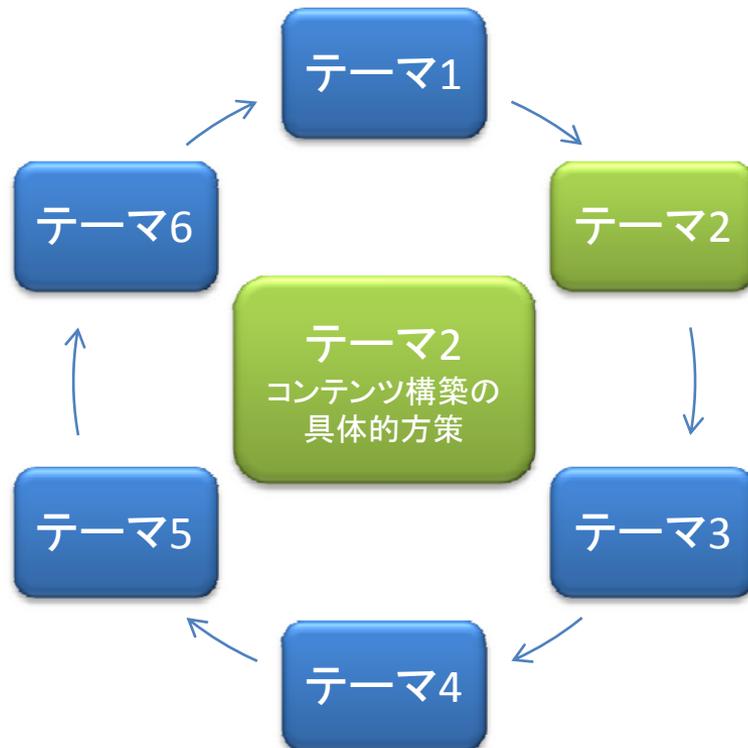
- 別途設定する環境の仮想大学において、平成21年4月にある程度のコンテンツ量を備えた状態で機関リポジトリを公開できるよう、構築計画を策定すること。
- 策定した機関リポジトリ構築計画に基づき、
 - 大学首脳部に対する企画説明(予算要求)
 - 大学教員に対する説明会(コンテンツ提供要請)のいずれかのプレゼンテーションを行うこと。

検討事項

- 基本コンセプト
- コンテンツ構築の具体的方策
- 広報の具体的方策
- 経費配分
- スケジュール
- Q&Aの事前想定

すすめかた

- 6テーマについて各30分のディスカッション
- 6名が順に座長役をつとめること



座長の役割

- 議論をリードすること。
- 時間内に結論を出すこと。
- 必要に応じ独断で裁量すること。
- 結論を要領よくまとめること。

基本コンセプト

- 名称
 - リポジトリ？ コレクション？ アーカイブ？
- 業務分担
 - 専任係？ ワーキンググループ？
- 事業化の手順
 - 個々の研究者へのプロモーション？ 「初期協力者」の獲得？ 経営層への説明？ 公文書？ 義務化？ 研究者DBと連携？ 統合認証基盤？

コンテンツ構築の具体的方策

- 初期コンテンツの選定
 - 何を、どれだけ、いつまでに
- 少しずつでも増え続けるための具体的アイデア

広報の具体的方策

- 作戦
 - チラシ、ポスターのキャッチコピー
 - 教授会、自由参加型、なにかの会合のおまけ
 - 個別訪問 どんな人と会う誰に？ きっかけは？
- 経営層向け広報活動で最も強調すること／
研究者向け広報活動で最も強調すること
 - オープンアクセス？ 説明責任？ 被引用向上？
納税者への義務？ 後世への継承？

経費配分

- 作業人員：人材派遣200千円／月
- 紀要：3千円／号（OCRあり）、2千円／号（なし）
- 学位論文：3千円／冊（再製本代含む）
- システムカスタマイズ：ひとつ500千円
（※システム構築・保守経費は別途確保されているものとする）
 - SNS対応（コメント、トラックバック、ブックマーク）
 - 紀要の電子ジャーナル的表示
 - よく読まれる資料の公開ランキング
 - 研究者への資料閲覧数通知
 - 連想検索機能（Webcat Plusのような）
 - 新着コンテンツ情報のRSS配信

スケジュール

- 平成21年4月にある程度のコンテンツ量を備えた状態で機関リポジトリを公開
- ある程度のコンテンツ量とは？
- 何をいつ？
 - 経営層への事業説明
 - 個々の研究者へのプロモーション
 - システム構築
 - 試験公開
 - どんなコンテンツをどんなタイミングで投入

Q&Aの事前想定

- 策定した機関リポジトリ構築計画に基づき、
 - 大学首脳部に対する企画説明(予算要求)
 - 大学教員に対する説明会(コンテンツ提供要請)のいずれかのプレゼンテーション